

ティーケーピー

アパホテルと提携し、会議室を併設した 次世代型ハイブリッドホテル 「TKP×APA HOTEL」を8月6日開業

全国および海外に1321室の貸会議室・宴会場を運営する(株)ティーケーピー(本社・東京都新宿区、河野貴輝社長、以下TKP)は、アパホテル(本社・東京都港区、代表取締役社長:元谷美美子)と包括的なフランチャイズ契約を締結し、会議室とホテルを併設した次世代型ハイブリッドホテル「TKP×APA HOTEL」を8月6日に開業する。

同施設は「旧チサンイン札幌」をリニューアルするもので、JR「札幌駅」より徒歩5分。1階がTKP直営飲食店2店舗、2～5階が26室・総収容人数2022名の会議室を備えた「TKPガーデンシティ札幌駅前」、6～10階が客室数203室の「アパホテル<TKP札幌駅前>」となる。「アパホテル<TKP札幌駅前>」

は、TKPが直営するビジネスホテル1号店。

TKPでは、両社が互いに培ったノウハウを組み合わせ「TKP×APA HOTEL」について、ビジネス用途を軸にした新たなクオリティを備えると自負する。また今後、会議室併設型ハイブリッドホテルを「ホテル&リゾート事業」の柱の一つとして積極的に展開していく考えだ。<ア>

【TKP×APA HOTEL 概要】

所在地:北海道札幌市中央区北2条西2-19 TKP札幌ビル/
敷地面積:902.59㎡/延べ床面積:9095.76㎡/構造・規模:鉄筋コンクリート造、地下1階・地上10階/客室数・施設:1階=海鮮炭焼き処 絆 KIZUNA・TKPカフェテリア/2～5階=会議室「TKPガーデンシティ札幌駅前」26室(2022名収容)、6～10階=客室203室「アパホテル<TKP札幌駅前>」



TKP×APA HOTEL外観



会議室イメージ



客室イメージ